

ボラレン ニュース



師走を迎え
今年もあとわずか
みなさんはどんな一年を
過ごされましたか？

平成25年度第1号 発行者 掛川市ボランティア連絡協議会 会長 神谷正二 発行日 平成25年12月1日

本部

映画「逃げ遅れる人々」上映会

9月28日（土）に徳育保健センターにて、東日本大震災で被災し、今も被災地に生き続ける方々の声を取り上げた映画「逃げ遅れる人々」の上映会を開催しました。映画では、避難所からの受け入れを拒否された障がい者や歩く事が難しい為、仮設住宅から自由に出かけることができない方の話など、震災によって派生した様々な課題について取り上げられていました。



上映後、監督の飯田基晴氏、出演者の小野和佳氏をゲストにトークショーを開催。ゲストからは「福祉避難所は、市民にあまり知られていない。もっと必要性を伝えていくべき」「避難所マニュアルなどの作成について、障がい者の声を聞く機会を設け、障がい者自身ももっと声をあげていく必要がある」などのお話をいただきました。

←監督の飯田基晴氏（写真中央）と出演者の小野和佳氏（写真左側）

参加者からは「人ごとではないと感じた。いろんな人にこの映画をみてもらい、いつ起きるかわからない。東海地震に活かされると良いと思った。」「近隣の方との関係を日頃から築いていくことが大切であると思います。」といった感想が出ました。

当日は138人が参加しました。→



支部活動報告

大東支部

第5回大東市民交流センターフェスタ（バザー開催・12/8）



12月8日（日）大東市民交流センターフェスタにてバザーを実施。今回でバザーも5回目となり、恒例行事となりました。多くのお客様に来ていただき、売上55,910円となりました。集まった募金は12月9日（月）に掛川社協へ届け「東日本大震災義援金」として寄付いたしました。



大東支部

大東児童館子どもフェスタ（バルーン作り）（5/11）

会員6名でバルーン作りと募金活動を実施しました。子どもたちだけでなく若者のも興味を持ってバルーン作りに参加してくれました。集まった募金は



2,070円。集まった募金は掛川社協へ届け「東日本大震災義援金」として寄付いたしました。



大須賀

支部研修会

11月29日に水窪文化会館にて水窪町ボランティア連絡協議会との交流会を実施しました。主にボランティア団体の活動状況について情報交換を行いました。



大須賀

児童館まつり（お汁粉作り）

11月10日に児童館まつりが開催され、お汁粉を作り来館者に提供しました。売上2,820円は福祉事業に活用していただくよう掛川社協へ寄付しました。



大須賀

児童館まつり協力

7月27日に児童館まつりが開催され、かき氷とスイカの種飛ばし競争を実施しました。かき氷は150杯を売りました。



掛川

ふれあいカップ（6/7）

6月7日に総合福祉センター「あいり～な」において「ふれあいカップ」が開催されました。天候にも恵まれ、全部で69の方が参加し、グラウンドゴルフを通じ楽しく交流をしました。ボラ連掛川支部からは3名が運営のお手伝いをしました。



団体活動紹介

団体名横の括弧書きは定例会の開催日時です。見学・体験等をされたい場合はボランティアセンターを通じて調整いたします。(TEL 22-1294)

音訳ボランティア サークル声 (月3回活動 基本、最終週の火曜または木曜 9:30~15:00 中央図書館録音室及びボランティア室)

私達は、市から発行される広報や刊行物を音訳して、目の不自由な方にカセットテープやCDにして郵送しています。グループ発足から35年が経過し、利用者は30人弱、メンバーは10人ほどで、お互いに交流を図りながら要望に応じた音訳等身近な存在の活動を続けています。また、掛川市にしかないものを「音で残そうと」取り組んでいます。地名も読みや発音を「声の辞書」として保存し、活用しています。挑戦しながら色々なことを知り、ますます掛川に愛着が湧く活動だと思っています。



災害VC (ボランティアコーディネーター) 掛川 (毎月第3土曜 10:00~12:00 総合福祉センター)

災害時にボランティアコーディネーターとして役割を果たせるよう、平常時より会員の資質向上と関係機関・団体等との協力 関係を作り、活動をしています。防災に関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。お気軽にご連絡ください。

活動内容

- ・定例会 (月1回)
- ・県一斉防災訓練
- ・防災出前講座 (HUG、防災用品説明など)
- ・津波訓練参加
- ・掛川市ボランティア連絡協議会との協働
- ・危機管理課 (行政) との協働



県災害図上訓練

出前講座 (HUG体験)



はつらつサロン大東 (毎週木曜 19:30~21:00 生涯学習センター)

平成8年から活動を開始。現在会員4名。老人施設の慰問や地域のふれあい交流会、健康まつり、子どもフェスタで活動しています。10年間以上も定期的に慰問を続けている施設もあり、楽しみにいただいています。バルーンを使った健康踊りや指の歌体操、手づくりビンゴゲームペットボトルボーリング等新しいメニューを考えています。いっしょに手づくりした道具で楽しく遊ぶように心掛けています。



第36回静岡県ボランティア研究集会

今わたしが あなたができることは？
—みんなでやらさあ 焼津のまちから 夢づくり—



日時：2014年2月9日(日) 10:00～16:45
会場：焼津市文化会館大ホールほか

主催 焼津市ボランティア研究集会
共催 静岡県社会福祉協議会
後援 静岡県教育委員会、焼津市教育委員会
協賛 焼津市文化会館、焼津市ボランティア研究集会実行委員会

手話通訳
要約筆記
あります



今年は焼津で開催！



第36回静岡県ボランティア研究集会

今わたしが あなたができることは？

—みんなでやらさあ 焼津のまちから夢づくり—

開催日：2014年2月9日(日)

10:00～16:45

会場：焼津市文化会館大ホールほか

基調講演 (10:30～12:00)

「生きていく。
いのちの輝きを支えて」

講師 内藤 いづみ 氏
(在宅ホスピス医／山梨県甲府市在住)

第36回静岡県ボランティア研究集会基調講演「公開企画」

「生きていく。いのちの輝きを支えて」

講師：内藤 いづみ 氏
(在宅ホスピス医／山梨県甲府市在住)

昭和31年生まれ、昭和58年昭和東立医科大学、東京女子医科大学等に勤務。現在は甲府から甲府、東京でホスピス研修。平成7年地元の甲府市に「いのちの輝き」を設立、展開。

在宅ホスピスケアの実践、がん患者さんが抱える苦しみ、いのちの輝きを支えるようサポートを続けている。NPO日本ホスピス在宅ケア研究会理事、青年会副理事長。

【メッセージ】
あした野原に出よう—在宅ホスピス医のノートから—「オアシス」「笑顔で生きていこう—在宅ホスピス医の日記から—」(KKベストセラー)のほか

【メッセージ】
若き研修医の魂、積極的な治療から見放され、異死のまじりに死を恐るる末期がん患者さんのために何が出来るか考えさせられた。在宅への向かい合い方は、その人の在宅の文化と歴史に深く関わっている。現代の医療システムからいのちを自分の手に取り戻し、自立した人としてその人らしく生きることが出来るのがホスピスケアであるといえます。

全く新しい医療の分野であり、異なる文化を持つ日本ではどう振舞うのか実践を通してこの20年間習得してきた、ようやく確かなアツキとして日本中で発展しつつある。

在宅ホスピスは、患者さんと家族が深く、心もつと「いのち」に寄り添う「うら」がけがらうことにより、心が一つになる瞬間がそこにある。産声をあげる時も、そして息を引き取る時も、いのちへの賛歌を胸に、互いのいのちを支えることが出来る社会を目指したい。いのちの輝きを支えていくというメッセージを送りたい。

分科会 (13:00～15:45)

第1分科会

ボランティア仲間を増やしたい！
—どうしたら無関心な人を活動に誘えるでしょう？—

第3分科会

考えてみませんか 子ども・若者の貧困・格差

第5分科会

いま“ご近所福祉”を考えよう
～大災害・超高齢化社会の到来に備えて、
私たちはどう暮らしていか～

第7分科会

障がい者が高齢を迎える時
～私たちができること～

第2分科会

ご存知ですか？ボランティア活動の歴史。
活動のこれからを見つめよう

第4分科会

集まれ！若者世代のボランティア—みんなで話そう！—

第6分科会 **公開企画**

東日本大震災 あの時と今
ドキュメンタリー映画
「PRAY FOR JAPAN」上映とお話

第8分科会

高齢者の生活を支える
～一人一人の持つ力を活かすためにも～

要項・申込書は掛川社協（本所・大東ふくしあ社協・大須賀ふくしあ社協）に設置しています。
複数部のお取り寄せについては、掛川社協までご連絡ください。（電話：22-1294）